

- 1 会議名 議会基本条例推進協議会
- 2 日時 令和 2 年 7 月 20 日（月）
午後 1 時 10 分から午後 2 時 31 分まで
- 3 場所 第 2 ・ 第 3 委員会室
- 4 出席議員 全議員
- 5 欠席議員 なし
- 6 事務局出席者 議会事務局長 丹羽至、同主事 丹羽亮二
- 7 会長あいさつ
- 8 報告事項

（1）各チームの現況報告について

片岡議員：9 月議会の常任委員会の録画配信に向けての準備を進めている。状況としては、業者にカメラ等の見積もりを徴収している。この後の議題でも触れるが、20 日の全員協議会でも録画のテストを行った。どのような角度で撮影するか等の事項を協議事項でお諮りしたい。もう一点報告があり、委員会のマイクシステムについて、更新の時期が来ており、22 日に ICT チームで業者からデモンストレーションを受ける予定。機能等を比較しながら皆さんに提案できればと思っている。

【質疑】

鬼頭会長：マイクシステムは有線タイプのものか。

片岡議員：協議会において有線のものを使うことだけは決定しているため、今回のデモンストレーションも有線タイプのもので受ける。

宮川議員：前回の協議会から進展はない。今日の資料で課題を明確に出し
ていただいているので、会議を開いて進めたい。

【質疑】

特になし。

大野議員：鬼頭会長からご意見をいただいているので、 会議を開くための日程調整を行う。

鬼頭会長：日程調整だけなので、この後にでも調整していただいてもいい。

【質疑】

特になし。

（2）その他

特になし。

3 協議事項

(1) 議会改革の推進及び検討事項の進捗状況について

鬼頭会長：資料に基づいて説明。

毎月の会議で進捗状況を報告するが、こういった形で進んでいくのかを文書で提出するのは大変なため、口頭でその都度、どの程度進んでいるかを報告して、事務局の方で簡単にまとめるという形でこれから毎月協議会の中で進めていきたい。

【質疑】

大野議員：委員会室の Wi-Fi 整備は既に発注していないか。

議会事務局長：8 月 22 日に工事の予定。

木村議員：7 月 18 日の市議会サポーターとの意見交換会の中で資料になり提案があったため報告する。資料内のサポーター制度の運営にあたると思うが、最初に説明の意見交換会があり、終了時に意見交換会があり、計 2 回あるが、もう少し日常的な意見交換会を行って欲しいという意見が出たので、検討していただきたい。議会傍聴の件で、働いているサポーターもいて、録画を見ることができるが、夜間や休日の議会を検討できないかという意見が出た。職員対応など非常に難しいと思うが、そういった意見も出たので加えて検討していただければ。

鬼頭会長：後で他の時間帯の参加者から出た要望なども話し合いたい。

宮川議員：木村議員から出た意見については、資料内「サポーター制度の改善」につながると思うので、市民参加チームで責任を持って詰めていきたいと思う、それをこの場に出せばいいかと。

鬼頭会長：市民参加チームの方で検討していただければありがたい。

大野議員：救急救命講習会を 2 年前に受講したが、議会でもう一度受講してはどうか。

鬼頭会長：2 年間隔だと忘れてきた頃にもう一度できていい。日程は、9 月の定例会が終わった後、秋頃の開催を予定したい。検討事項の進捗状況について、毎回 1 個ずつというのは難しいと思うが、継続していることと変わってくるところが出てくれば、その報告を受けることになる。

(2) 市議会サポーターとの意見交換会を終えて

鬼頭会長：7 月 18 日（土）に午前、午後、夜に分けて 3 回行った。それぞれの回の意見交換という形で、各回に参加した議員から伝えたいこと等があれば。木村議員からはサポーター制度の改善という事で話があったが、それ以外で、参加していたメンバーで誰でもいいので何かあれば。

大野議員：一番の課題が新たなサポーターが入らないことだったため、公募だけでも募集してはという意見が出た。新しい方に参加していただい

て市議会サポーター制度を継続した方がいいとの意見が出た。

片岡議員：午前の参加だったが、今は必ず7月から任期のスタートと決めていると思うが、途中からでもやりたい人がいれば受け入れてもいいのではという意見があった。

鬼頭会長：途中から募集することを検討した方がいいのか、今の形を当面続けていった方がいいのか。今年は特別な状況でもあるので、今回に限り中途募集をした方がいいのかとも思うが皆さんはどうか。

梅村議長：確かに、途中からでもやってもらったらどうかという意見はあったが、今の制度ではクオカードを渡しているため、任期満了の一月前の受け入れ等は考えられない。途中で受け入れるとしても、相当期間を残した期限を設けなければならないのでは。

宮川議員：例えば、執行機関側で言えば教育委員会だとか、他の審議会でも継続性を保つという意味合いで、あえてバラつかせてある。この時期から1年後にクオカードをお渡しするという事であっても、一斉に始まって、一斉にお渡しするという必要はないので、柔軟に、入ってきやすい環境づくりというのも考え方にあってもいいのでは。

鬼頭会長：今年に限って中途の募集を考える方向でいいか。

宮川議員：制度上どうするかというのも今のうちから考える必要はあるが、仮に先ほど提案した方法を採用とすれば、今の規定自体を変える必要性もあり、まずは考え方の検討から進めていってはどうか。

黒川議員：制度に関わることであり、引き続き全員で検討していくべき。

鬼頭会長：今年限りの変更とするのか、制度全体を見直すかについて今後検討していく。市民参加チームが中心になって原案を考えていただいて推進協議会で協議していく。

午前中の回ではその他に、新型コロナウイルス感染症対策について高齢者の方に中々情報が入って来ない、メール、ホームページだけでなく閲覧板等で知らせたいという意見が出た。そういった事も執行機関の方に投げかけていきたい。午後の方で何か気になった事があれば。

木村議員：午後の回では6人の方が参加し、その中で気になったのは、サポーターの意見に対する回答が簡素で、もう少し根拠等を含めて回答して欲しいという意見があった。それから、サポーターの意見をどこまで言っているのかの判断が1年目の人には難しいという意見、常任委員会の行政視察の報告がホームページや議会だよりに掲載されるが、岩倉にどう生かすのかという部分を読み取れない、市政に反映できるような視察先の検討やその後の議会での質問をしっかりと行って欲しいという意見等が出た。また、日常的な意見交換をして欲しいという意見の中で、

例えば、1つの議会が終わったタイミングで中間アンケートでもいいので意見を取る機会を設けてもいいのではという意見も出た。議会改革度ランキングについて、順位が落ちた理由は何かと聞かれた。

鬼頭会長：木村議員から報告があったように、午後の回では活発に意見が出た。また、コロナ禍で影響を受けた中小企業の岩倉市内での倒産件数を聞かれたが、全く情報がなく、そのような事も執行機関側と情報交換をしていきたい。サポーターとの意見交換の場をもう少し作っていききたいと思う。

井上議員：意見交換会に欠席された方もいたと思うが、再任される方が7名と聞いたが、欠席された方の再任に関する情報はあるか。

鬼頭会長：引っ越しで来られないと連絡があった方が1名、全く連絡がつかない方が1名あったが、それ以外の方は連絡がついている。再任の意見表明をされている方は全員で8名である。再任された方でも議会を良く理解している方と、まったく分からない方があり、その差を埋められる様な勉強会等の必要を感じた。夜の意見交換会はどうだったか。

水野議員：特に市政に関しての意見が多く、議会運営に関してはあまり出なかった。市政への意見について議員としての意見を伝えた。

鬼頭会長：公園によく子どもと行くということで、公園に日陰を作って欲しいとか、市内のどこに公園があるか分からないため、ホームページで知ることができればいいという意見があった。また、友人から岩倉はごみが散乱して汚いと言われた様で、ごみのマナーに関して、管理は誰が行っているのか等の質問があった。

黒川議員：参加者から、メールでの案内でもいいが、できれば紙だと注意して目を通すことができると希望があった。

鬼頭会長：中心はメールでの案内になるが、どうしても封書で送って欲しいという希望があれば封書で案内していきたい。

榊谷議員：ごみが汚いというのは、具体的な場所はどこか。

鬼頭会長：具体的な場所は聞いていない。ごみの日ではないのに、ごみが出ている所が市内に数カ所あるので、そういった所の話だと思う。外国籍の方が多いので中々ルールが徹底されていないのではと話をした。また、詳しい議事録については、各担当に作っていただく。

宮川議員：議事録についてワードにベタ打ちをしているが、フォーマットに記入しても、3回分の議事録が同じような書き方になるか不安なので、データを提出して、フォーマットに則った文章に訂正いただけるとありがたい。

鬼頭会長：フォーマットは完成しているので、それに則って提出をしてい

ただく。提出された議事録について、この協議会の中で訂正等を行う。

(3) ふれあいトークの開催について

鬼頭会長：今年は状況的に開催できないこともあるが、来年2月の議会報告会は開催したいと考えている。今までと同じ形式で行うか、三密を防ぐ等で考えがあればこの場でまとめたいがどうか。

片岡議員：状況によるが、Zoom などを使った議会報告会も選択肢の一つとして検討してはどうか。

鬼頭会長：今回、3部制に分けたような形や午前、午後で分けることもいいと思うが、他に意見等あれば。

梅村議長：今年のふれあいトークについてだが、意見交換会については随時行えばいい、相手方がオンラインでとなればこちらも対応しなければならないと思う。議会報告会は、要綱で年2回程度実施することと定められているため、例年どおり、9月定例会終了後、10月か11月で1回、3月定例会前の2月に1回予定しなければならないと思う。その時に、コロナの状況によっては、議会報告会もオンラインでの開催を検討しなければならない。また、要綱ではオンラインで開催できるという要綱になっていないため、今年度中には要綱を改正していきたいと考えている。

宮川議員：秋の議会報告会について、本来の趣旨は、決算を受けてそれを来年度予算にどう反映するのかが出発点だったと思うが、参加者の安全面を考えるのであれば、直接意見交換を行うのは大事だと思うが、事前に提供できるデータを配付して、質問事項をいただければ、議会としても、時間が短く、明確に回答ができていいのではないか。3部制でというの也被言われたが、このぐらいの間隔が理想かと思う。事前に出すという事は、事前に何名ぐらい参加するというのも把握しやすいので、その様な手法もありかと思うがどうか。

梅村議長：議会報告会に関しては、3部制にするほどの参加人数の実績がないため、そこまでしなくてもいいのではないか。できるだけ広い会場を押さえて、1回で終える方がいいのでは。

大野議員：生涯学習センターの様に窓が開かない施設は使えない。できるだけ窓が開放できる会場で10月、11月はいいが、2月に窓を開けてできるかというところで、総合体育文化センターの多目的ホールの様なかなり広い会場を借りなければならない。その様な、窓を開けて換気ができる会場について検討しなければならない。

水野議員：会場で参加するかリモートで参加するかの選択できるといい。リモート参加について、片岡議員の意見にあった Zoom でもいいが、聞

くだけ、見るだけであれば、Youtubelive と組み合わせてリモートで参加していただければ、会場が多少狭くても、会場ではない形で参加していただく手があるのでは。

大野議員：Zoom と会場で分けないと、かなり混雑するので司会が難しい。司会の技量にもよるので組み合わせるのは難しい。

水野議員：技量等も上がってくるので、今回でなくても将来的にという事で。小規模でも、試験的に Zoom でやる形もあるのでは。

鬼頭会長：リモートで参加して意見が出しにくいこともあり、チャット機能で出していただくのもありかと思うが、こういった形がベストなのかは難しい。

大野議員：Zoom での参加者は原則チャットで質問をしている。司会者がピックアップする形式で答えるが、Zoom だと一人一人の顔が映らないので、その回答の仕方も難しい。

鬼頭会長：もう少し検討して、どちらにしてもやるという方向でいきたいが、こういった方向でやっていくのかというのは、次回8月、9月までには決めなければ遅い。具体的にこういった形でやっていくのかについては中々まとまりがつかない状況だが、次回、意見をまとめて提案をしていただければいい。それを集約し、どのような形で開催するかを次回くらいに決定したい。市民活動団体との意見交換会については、次回検討する。PTAの方には、オンラインでもこういった形でもいいのではと依頼はしてある。返事はまだなく、8月には結果が分かるのではないと思う。

(4) 委員会録画放映について

鬼頭会長：委員会の録画放映について、議長に画角イメージを用意していただいたが、このような形で行ってきたいということで、片岡 ICT チーム長から報告があったが、補足したいことがあれば、ここで説明をお願いする。

梅村議長：事務局も絡んでいたんで、私の方から補足をする。コロナの関係もあるため、できるだけ早く委員会録画放映をしたいと考えている。この場で合意したいのは、前回、録画のカメラを2台で録画を行うという意見も出たが、事務局の後処理を考えると1台の方が良い。2台だと単純に金額もかかるため、カメラ1台での運用としたい。そこで、1台で録画したらこうなるという画角イメージを用意した。横顔で映る人もあり、誰が何を言っているかは、画だけでは分かりにくいかもしれないが、音声はクリアに入るため、音声を聞けば、ある程度誰が何を言っ

いるかは分かるのではないかしらと思うし、委員会の放映として、委員会が何を言っているかは間違いなく分かると思うので、こんな画角イメージで進めていいかどうか。ちなみに、予算的には、1つの業者から取った目安だが、ビデオ、三脚等の機材を揃えて15～16万円程度という状況。財源については、事務局でコロナの関係で不用になったものを挙げながら、議会費の流用を検討している。また、当局に対しても、市長、副市長には話をして、了解をもらっており、今年度中に予算を確保してやれるといいなと考えている。あとは、ビデオの容量が大きく、YouTubeにアップロードする際の処理に時間がかかるといったところで事務局が悩んでいるが、そういったものが解消できれば、9月議会の委員会から録画放映を開始したい。配付したカメラ1台での録画の画角イメージでいいのか、9月議会から始めてもいいのか、その点で意見があれば。

須藤議員：カメラを設置した側の人の顔が分からない。真ん中から撮ってはどうか。

梅村議長：真ん中から撮ってみたが、どうしても端の堀議員と片岡議員の所が画角に入らない。広角レンズをオプションで付けることも考えられるが、予算的に苦しく、できればこの画角イメージがいいのではと。

黒川議員：14名入るのはやはり財務で、総務、厚生は7名なので、それは工夫次第だと思う。財務の場合は、日替わりで場所を変えるという方法で一定解消できるのではないかしら。そうして、色々工夫しながらやっていけばいいだろうと。議長がおっしゃったようにまずはやってみてはどうか。

宮川議員：今の画角イメージでは、暗い方から明るい方を撮っているが、逆の方向から撮った場合のコントラストがどうなるか見てみたい。直接カメラを操作するならば、事務局に近い方がいいが、リモートでも操作可能なため、逆からの録画のイメージも見てみたい、これは要望としてお願いしたい。

梅村議長：宮川議員の言うとおりに南側から撮影した方が映りはいいが、議会サポーターや傍聴者が映り込んでしまうため、どうしてもこの画角イメージとなる。

鬼頭会長：間に合えば、9月議会から始めていくということでこの場で決を採ってもよろしいでしょうか。

梅村議長：最後は議運になりますが。

鬼頭会長：皆さん賛成ということで、方向と全体が見渡せる場所で撮るのかという検討を続けて、9月議会から始めると。サポーターからも委員会を見てみたいという意見もあり、なるべく早い時期から委員会の放映もしていきたい。

(5) 市制 50 周年記念に向けた議会行事について

鬼頭会長：来年 50 周年ということで、それに向けて、過去には議場でコンサートを行ったこともあると聞いているが、何かやってみたいこと等があれば考えていただきたい。お金がかかる場合は、10 月には予算要求の必要があるため、8 月、9 月ぐらいまでには具体的に決まっていればいいが、今日はこの場でどういったものがあるのかということで提案だけさせていただく。何か意見があれば。

梅村議長：過去に周年で議会が取り組んだことについて、知っている方がいれば。

梶谷議員：過去には、議場の市長と議員の間の所でセントラル愛知交響楽団の弦楽四重奏が行われた。大きく案内したので傍聴者も多かった。

梅村議長：それは、定例会の初日に行われたのか。

梶谷議員：初日に行われた。

宮川議員：学校行事もあるので何とも言えないが、中学校のコーラスとか、ジュニアオーケストラなども選択肢としてありかと思う。また、市の方で 50 周年記念の DVD を作ると思うが、その中に映像として残るのであれば、市民にどれだけ参加していただけるかという点も念頭に置いた選択も必要ではないか。

鬼頭会長：市民参加を促せる様なイベントということで、場所は議場でなくてもいいが、せつかく 50 周年ということで、記念の事ができれば。

水野議員：市民参加チームの継続議論となっていると思うが、市制 50 周年記念で子ども議会というのはどうか。将来の岩倉市に向けて議論するという感じで、50 周年記念子ども議会というのもいいのでは。ただ、市民参加チームで子ども議会の開催についてどの様な議論があるのか分からないので、どうなっているのか確認したい。

宮川議員：今進めている内容としては、基本的には小中学生を中心として議会に興味を持ってもらうという趣旨で構成しようと考えている。内容までは詰めていない段階でコロナ禍に入ってしまいまだ進んでいないが、水野議員が言われる様に将来に向けてというテーマであれば、以前行ったおむすびトークの様なイメージで、小中学生に自分達の夢を語ってもらうことは意味があると思うので積極的に考えていきたい。

鬼頭会長：時期については、今年度中に行うのか、50 周年に向けて行うのかというのは決められない状態ということでよいか。

宮川議員：チーム内で話合っていかなければならないが、50 周年記念という冠をつけるのであれば、来年の 12 月 1 日前後で行うかと思う。た

だし、内容にもよるとは思うが、議会日程を圧迫してはいけないし、子ども達の負担になってもいけないので、その辺りのタイミングというのは、曜日も含めてじっくり考えて、最善なところを選んでいく必要があるかと思う。市民参加チームの多くの意見の中から検討していけばいいと考えている。

堀議員：50周年を見据えてそこまで引き延ばして子ども議会を取っておくのではなくて、良い事はスピード感を持ってやるべきだと思うし、50周年として行うのであれば、今は、ある団体を通した募集を中心にして公募という形だが、もう少し、大きい形でのイベントを企画しなければいけないと思う。

鬼頭会長：今年度は、団体の方を通してという形、来年は、広く市民に向けてという形で、もし子ども議会を行うということになれば、この様な形になる。50周年事業ということで色々な選択肢があるので、その中からどういったものを行うか、次回ぐらいには決定したい。予算がかかるものが挙げれば、10月予算要求なので、早めに決めていかなければならない。50周年記念事業については、継続して議題とし、別の意見等あればその時に出していただいて、次回で大まかに決めていきたい。

(6) その他

宮川議員：リモート会議の在り方について、色々な方向性から意見があり、市民参加チームとしての制度設計はできても、それに対して技術的なものが伴わなければ意味がなく、そういう意味では、大野議員、片岡議員、水野議員等一定の知識を持たれている方に参考人として参加していただきたいがどうか。

片岡議員：都合がつけば是非出席させていただく。

鬼頭会長：日程を合わせて協議していただければと思う。

鬼頭会長：防災訓練が例年8月末だったが、今年は9月27日に曾野小学校で行う。今回は規模を縮小して行うと聞いている。今までだと各地域の被害状況を報告し合って終わりだが、会場の中を見て回って改善点についての意見を述べるような場にしてみたいと考えている。規模縮小なので我々が前面に出る事は無いと思うが、今までと違った形で参加したい。何か防災訓練について意見があれば。

須藤議員：市議会のテントはあるのか。

鬼頭会長：まだ分からない。来月委員会があり、そこで詳細が決まる。

梅村議長：市議会のテントを立てておいて欲しい等意見があれば、伝えていかなければならない。

宮川議員：次回の会議には議長も参加するが、要望するなら議会としてどういう方向性で取り組むのか決めておいた方がいい。以前北小でテントの代わりに体育館の入口を利用したという経験も皆さんあると思う。何もないところで集まってどうやって情報交換するのかという観点であれば、テントにこだわるよりも議長の下で、例えば木の下でもいいので実態に合わせた訓練というのもありかなと思うので、皆さんの意見を集約していただければ。

大野議員：聞いたところでは、原則関係団体参加見合わせという方向性が示されていて、関係団体には、今年の参加は無いかもしれないと伝えられている。体育館だけでコロナ対策の取組を中心にするという方向性で、地元の議員は参加して、議会は勉強という形で参加するのか、密にならないで行いたいという事が主なので、その辺りの取り扱いについて議長に防災会議に出ていただいた後、来月報告いただいて、決めていくべき。

鬼頭会長：会議の中で具体的に議会から主張していくことはないということで。会議を受けてその内容に沿った形で議会も取り組んでいく。

4 その他 特になし。

次回 8 月 18 日（火）午前 10 時から（予定）